

青年交流事業

「TOKYOお台場Dayツアー」

お台場でトキメキの時間を…

NPO法人「いたて教育文化福祉の茂里支援センター」（北原繁理理事長）主催の青年交流事業「TOKYOお台場Dayツアー」が昨年行われ、村内外から参加した独身男女12人（男5人、女7人）が、日帰り東京ツアーを通して交流しました。

朝、バスで村を出発した一行は、車内で自己紹介やビンゴゲーム、カラオケ、クイズなどを行いながら東京へ。東京では浅草で散策した後、晴海ワシントンホテルで昼食をとり、午後からお台場で各自散策をしながら交流しました。



▲昼食をとりながら交流する参加者ら



▲フジテレビ前で記念写真

新聞の募集記事を見て南相馬市から参加した女性はこの日限りではなく、継続して村の人と交流を続けていきたい。次回の事業にも参加したい」と話していました。

主催したNPO法人の北原理事長は「気軽に参加してもらったために日帰りツアーとしたのが良かった。交流事業は継続して実施することが大事なので、来年度以降も実施していきたい」と、今後の活動に意欲を見せています。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



第5回 まいでい探検いいたて

「いいたて・まいでい・ユニット」の「第5回 まいでい探検いいたて」が宿泊体験館「きこり」で行われ、参加した村民9人とユニット会員11人が交流を深めました。



▲ユニット会員と懇談する村民ら

設立後は村を知る活動として4回の村内探検を実施し、村の産業振興や保健福祉などの取り組みについて、村職員や関係団体等から聞き取り調査や意見交換を行なってきました。

今年度5回目の探検は、村内の直売所やNPO、企業組合、グリーンツーリズム研究会で活動している方を招き、各団体の活動状況や抱えている課題、ユニットで応援できることなどについて懇談しました。

ユニットの佐藤弘子団長（二本松市・本村出身）は、「色んな意見や力が結集することで良い村づくりが出来ると思う。ユニットの活動が、そのきっかけの一つになれば嬉しい。これからも『まいでい』の村づくりを応援していきたい」と話しています。

2/25

飯館村を知ろう！応援しよう！

大切な文化財や財産を守り伝えよう



▲放水訓練のようす

1/20

文化財防火デー消防訓練

飯館外内地区の大雷神社で「第53回文化財防火デー消防訓練」が行われました。

この訓練は、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財保護審議会や村消防団、村教育委員会などが、村内のお寺および神社を会場に実施しているものです。

この日は、神社の氏子や村消防団員、文化財保護審議会委員、飯館分署員など約70人が参加しました。

訓練は「神社裏の山林から出火し、延焼の恐れがある」との想定で開始され、氏子の代表らによる重要物搬出訓練および消火器を使った初期消火訓練など6訓練が行われました。

参加者たちは、有事に備え真剣な表情で訓練に臨んでいました。



出来る人がやる

孫が、やまゆり保育所にお世話になっていて、「送り迎え」はほとんど母親ですが、不都合が出来れば私たち夫婦の出番となります。

私は、朝夕なかなか体が空かないので勘弁してもらっていますが、これまで「迎え」は2、3回引き受けたことがあります。

つい先日、「朝の送り」を頼まれて保育所へ行ってみたら、「迎え」の時では出会ったことのない光景を見て感激してしまいました。

それは、若いお父さんが何人か保育所まで子どもを「送り」に来ていたのです。「迎え」の時は時間がまちまちだったので、見る機会がなかったのです。

「なかなかやるな」と、私もつい話しかけてみました。「時々送り迎えをするんですか」と。「いや、毎日です」

日です」という返事。

「大変だね」と、また声をかけてみたら、「慣れれば何てことはないですよ」とさらりと答え、すばやく車に乗り勤務地へとさっそうと走って行きました。

わが飯館村にも、「このように頑張っている父親がいるのだな」と思ったら、何となく周りが明るく感じ、心が軽くなってきました。

「送り迎え」をしたくとも仕事の都合で出来ない父親もいるに違いありませんが、いずれにせよそれぞれの家庭にはそれぞれの事情があり、その中でよく話し合って「出来る人がやる」ということが、これからの時代、大切なことなのではないかと改めて感じさせられたことでした。

飯館村でも保育所を開設し、預かり保育を実施し、クーポンを発行するなど、村なりの「子育て支援」に力を注いでいますが、決してこれで十分とは言えないはずで、19年度も、「さらに何らかの子育て支援をしなければ」と胸に深く刻みながら役場に車を走らせた次第です。

平成19年2月28日

飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ

親の氏名

行政区

木幡 娃佑ちゃん	重見・みどり	伊 丹 沢
杉都 珂瑳くん	一徳・春美	前田・八和木
阿久津 優菜ちゃん	賢一・恵子	草 野
川村 倅大くん	大・かおる	草 野
佐藤 凜ちゃん	守・美沙紀	比 曽

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名

行政区

菅 野 一二三	深 谷
植 野 美 香	二本松市

いつまでもお幸せに

お く や み

氏 名

年 齢

行政区

星 義 継	102	伊丹沢 (深谷)
林 一 男	73	前田・八和木
佐 藤 タ ケ	85	深 谷
佐 藤 市五郎	93	草 野
菅 野 清 一	53	比 曽
佐 藤 アイ子	82	上 飯 樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成19年2月1日現在)

人 口	今 月 (前月比)	去年同期
男	3266人 (+0人)	3324人
女	3289人 (-8人)	3362人
計	6555人 (-8人)	6686人
世帯数	1747戸 (-3戸)	1739戸

◆◆◆1月1日～31日までの人口動態◆◆◆			
転入	12人	転出	19人
出生	5人	死亡	6人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

ニュースポーツで 団員や指導者たちが 笑顔で交流

2/25

スポーツ少年団交流会



▲スカットボールを体験する団員たち

村スポーツ少年団(庄司和明本部長)の交流会が公民館で行われ、参加した団員たちが友情を深めました。

この交流会は、スポーツ体験を通して冬の運動不足を解消するとともに団員同士の親睦を深めるため、同少年団が毎年この時期に実施しています。

今年は村内9団体から団員80人と、指導者や保護者33人の合わせて113人が参加しました。

交流会では、はじめに軽運動が行なわれ、村体育指

導員による準備運動と音楽に合わせたエアロビで体をほぐしました。続いて参加団員が9グループに分かれ、グループ毎にスカットボールと輪投げを体験しました。

また、風船を使った飛行機づくりでは、団員たちが保護者や指導者と一緒に楽しく風船飛行機を作り、みんなで飛行距離を比べ合いました。

交流会後には、保護者らが作った豚汁がふるまわれ、参加した団員や指導者たちは互いに交流しながら、おいしそうに豚汁を食べていました。



▲風船飛行機を作る団員たち

4団体が地元の伝統芸能を熱演 2/18 第14回村民俗芸能大会



村公民館で「第14回飯館村民俗芸能大会」が開かれ、出演した団体が地元につながる芸能を披露しました。

この芸能大会は、村内に伝わる伝統芸能の保存継承のために村が3年毎に開催しているもので、今回は比曽の三匹獅子舞、前田の神楽、八木沢の田植踊、蕨平の子供手踊りの4団体が出演。

大会では、華やかな衣装に身を包んだ踊り子たちが、この日のために練習してきた成果を存分に発揮し、発表が終わるたびに観客から大きな拍手を受けていました。



(左上・比曽の三匹獅子舞、右上・前田の神楽、左下・蕨平の子供手踊り、右下・八木沢の田植踊)

2/10 外内手踊り保存会が「そうまの祭り」に出演

相馬地方広域市町村圏組合では、相馬地方の観光や芸能をPRするため「相馬地方広域観光事業」を展開しており、その一つとして、地域芸能を披露する「そうまの祭り」を毎年開催しています。

この日は相馬市の「道の駅そうま」で行なわれ、本村の外内手踊り保存会をはじめ相馬地方から4団体が出演し、多くの来場者の前で堂々と踊りを披露しました。



▲多くの来場者の前で手踊りを披露する外内手踊り保存会